

2013年12月4日

博報堂生活総合研究所 未来予測「生活動力2014」発表

「インフラ友達」 人の《役割》を発掘する時代へ

博報堂生活総合研究所は、毎年末に翌年以降の生活者動向を予測する「生活動力」を発表しています。今回、2014年に向けて提言するテーマは「インフラ友達」です。単身世帯が全世帯の三分の一を占め、血縁・地縁が薄まる中、人間関係の再構築は喫緊の生活課題です。当研究所は、先行き不透明な時代を生き抜くため、信頼でつながり、日常の様々なシーンで、生活の土台として機能を果たす「かけがえのない使える人々」を「インフラ友達」と名付けました。この20年間友達の数が増え続けていますが、一方で「友人の数は多ければ多いほどよい」と考える生活者の割合は減り続けています。人間関係を選別し、インフラ友達とともに自らの生活の質を高めようとする生活者の実態とポテンシャルについて、考察した内容をご報告いたします。

1. 友達関係は量から質へ ～人間関係の見直しが進む～

- ・高まる社会不安の中、一人で過ごす時間は5時間20分/日まで増加。
- ・「友人は多ければ多いほどよい」という意識は約6割から約3割へと半減。

2. 「かけがえのない使える人々」インフラ友達の誕生

- ・「人脈拡張」から「友達選別」へ。
- ・「インフラ友達」とともに前途多難な社会を生き抜く暮らしが始まる。

3. 生活者が欲しいのは「避難所友」「教友」「命友」

当研究所がおこなった友達に関する調査より、生活者の欲求が高かったのは以下のとおり。

- ・大災害時に、避難所的に受け入れてくれる「避難所友」が欲しい率：55.0%
- ・生活の質を上げる知恵を教えてくれる「教友」が欲しい率：52.6%
- ・生きるのがつらいときに活力を与えてくれる「命友」が欲しい率：49.9%

4. インフラ友達から考える未来仮説

インフラ友達の登場は社会と市場を変えていく。

- ・インフラ友達の「生活のマイナスやネガティブな側面をカバーしてくれる」機能を活用し、社会課題解決のためのシステムを開発することが求められる。
- ・インフラ友達の「毎日を意欲的に過ごし、何かにチャレンジしようとする時に、力になってくれる」機能を用いて、生活の質の向上に貢献する商品・サービスの開発が望まれる。

[参考] 生活者が欲しいインフラ友達ランキング50

本件に関する
お問い合わせ先

株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所
株式会社博報堂 広報室

小原・山本 (TEL:03-6441-6450)
西尾・西本 (TEL:03-6441-6161)

1. 友達関係は量から質へ

● 高まる社会不安の中、一人で過ごす時間は増加

将来保障への満足度は 3.8% に

『生活定点』調査によれば、1992年から2012年までの20年間で「将来の保障（年金・保険など）」への満足度は15.5%から3.8%に大きく減退。また「経済的繁栄」という日本への誇りも3分の1以下（45.4%→13.7%）に低下。さらに「社会の安定」という誇りも2分の1以下（39.7%→18.5%）に下落しました。かつては頼りになっていた公への安心感の崩壊。生活者は、不安やストレスの行き場を公に求めることも難しくなっています。

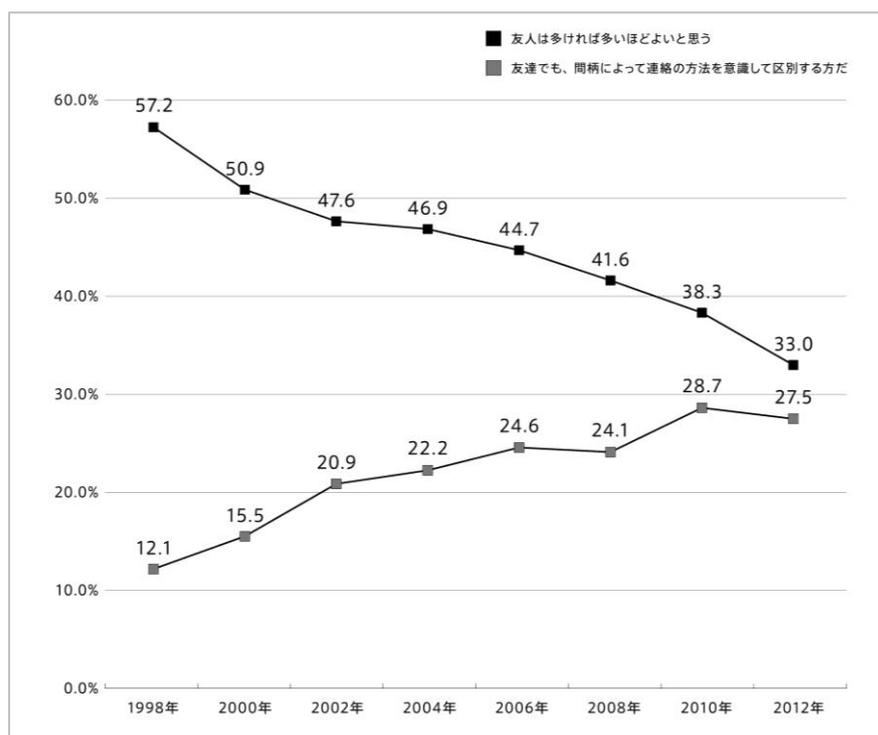
増える単独行動。一人で過ごす時間は 5時間20分/日に

かつてないほど、日本人の一人で過ごす時間が長くなっています。この15年間で晩婚化や未婚化が進行。総務省『社会生活基本調査』によると、日本人（10歳以上）一人当たりの一日における「一人で過ごす時間（睡眠除く）」の平均値は1996年から2011年までの15年間で約30分（4時間49分→5時間20分）伸び、単独行動が増えています。

このような時代状況において、人間関係の意識はどのように変化しているのでしょうか。

● 「友人は多ければ多いほどよい」という意識は 約6割から約3割へと半減

今、人は世界中の人と簡単に友達になれる時代です。ソーシャルネットワーキングサービス（以下、SNS）や、社会貢献活動、趣味のサークルなど、バーチャルな場でもリアルな場でも知り合えば、「友達リクエスト」を送ったり、連絡先を交換したりして、「友達」になることができます。事実、この20年間で友達の数が増え続けています。一方、『生活定点』調査によれば、この世相とは逆行するかのよう「友人は多ければ多いほどよいと思う」という回答率は、大幅に下降しています。拡張を続ける人脈の中で、人々は「誰を友として生きるか」を、真剣に模索し始めているのです。

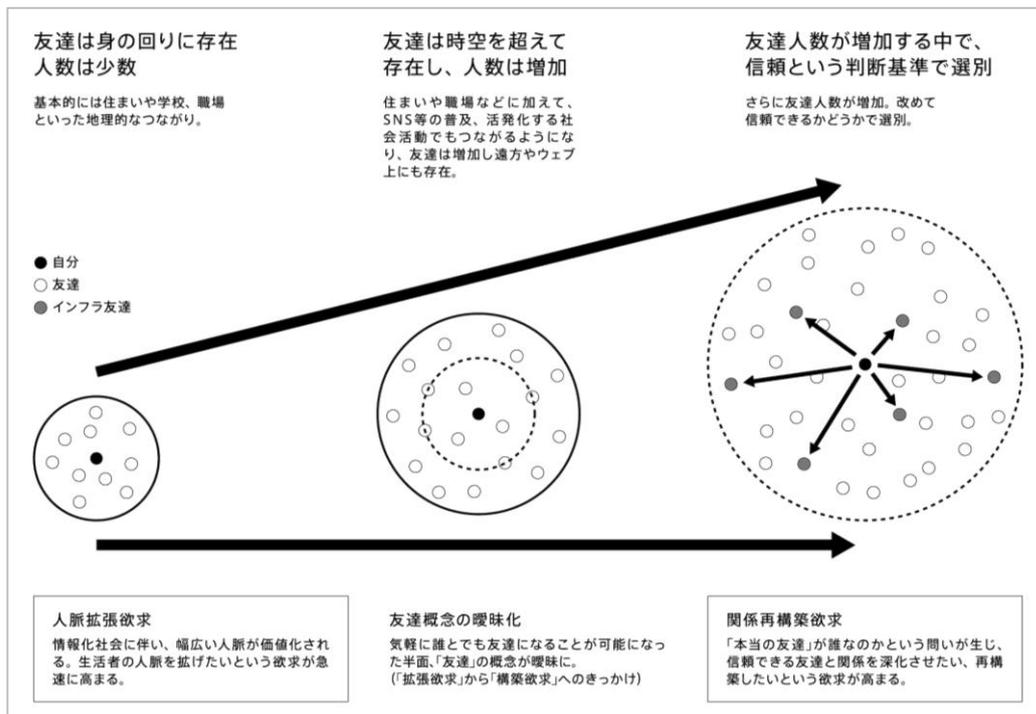


出典：博報堂生活総合研究所
生活定点調査 n=3,232

2. 「かけがえのない使える人々」 インフラ友達の誕生

● 「人脈拡張」から「友達選別」へ

1990年代に入り、携帯電話とインターネットが普及。2000年代に入り SNS などのサービスが登場し、インターネット上で交流することが容易になりました。こうした環境変化のもと、生活者が意識的に、時には積極的に人脈を拡張してきました。しかし、人脈を拡張させればさせるほど、友達の概念は曖昧化し、相手を理解するほどの関係性が構築できないというジレンマに陥るようになりました。社会不安が高まる中、友達の意味を問い直すべく人間関係の再編がはじまっています。



● 「インフラ友達」と前途多難な社会を生き抜く

生活者は日々の暮らしの土台を支えあえるかどうかという視点で友達を選別し、改めて信頼できる人間関係を再構築しようとしています。暮らしの土台を支えあい交わり、生活の骨格となるような友達が【インフラ友達】です。

それは、表層的な知り合い関係を超え、互いが互いを生きる土台（インフラストラクチャー）と呼べるような関係性です。土台というと、あらゆる機能を備えている大きな存在で、一人いれば十分と思われるかもしれませんが、そうではありません。一人の友達が果たす機能の数は一つか二つ程度です。たとえば、風邪をひいたら面倒を看に来てくれる友達、災害時にバッテリーや井戸水を分けあう友達、高齢者のケアや子育てを支援しあう友達など、自分のライフスタイルに応じて、多種多様なインフラ友達とともに、生活の土台を整備します。そして、複数人の友達を持つほど、生活の土台は盤石になります。

こうした彼らは生活者にとって、この前途多難な社会を生き抜くための「かけがえのない使える人々」ともいえるのです。

3. 生活者が欲しいのは「避難所友」「教友」「命友」

以下は、当研究所がおこなった友達に関する調査（※）から、「欲しい」と回答したインフラ友達のランキング表です。

【全体】で「避難所友」が1位となり防災意識の高まりがみてとれます。また、生活の質を上げるための知恵を教えてくれる「教友」、生きるのがつらいときに活力を与えてくれる「命友」が【男性】【女性】ともに上位にランキングされ、日常も将来も不安な時代を賢くなんとか生き抜こうという生活者の欲求がわかります。

【全体】「欲しい率」ランキングTOP10

1位	避難所友（ひなんじょとも）	55.0
2位	教友（きょうゆう）	52.6
3位	命友（めいとも）	49.9
4位	ネンイチさん（ねんいちさん）	49.4
5位	目利き友（めききとも）	47.7
6位	黙友（もくゆう）	46.0
7位	訳友（やくとも）	43.3
8位	怒友（おこっとも）	41.8
9位	ネタ友（ねたとも）	41.2
10位	旬友（しゅんとも）	40.5

* 各項目の内容説明については、
P.6～P.7をご参照ください。

【男性】「欲しい率」ランキングTOP5

1位	避難所友（ひなんじょとも）	52.3
2位	ネンイチさん（ねんいちさん）	47.7
3位	命友（めいとも）	46.4
4位	教友（きょうゆう）	44.9
5位	目利き友（めききとも）	42.5

【女性】「欲しい率」ランキングTOP5

1位	教友（きょうゆう）	60.4
2位	避難所友（ひなんじょとも）	57.6
3位	命友（めいとも）	53.4
4位	目利き友（めききとも）	53.0
5位	黙友（もくゆう）	51.8

※ 参考

『インフラ友達アイデア評価調査』

- 調査概要 具体的なインフラ友達に対する生活者の実態と欲求を把握する。
- 調査地域 全国
- 調査対象者 15歳～69歳 男女 3,448人（有効回収数）
- サンプリング 全国を8地区に分割し、エリア別人口構成に応じて割付。
性年代は10歳刻みで均等割付。
ただし、10代は15歳～19歳のため20代以上の各年代の半分のサンプル数とする。
- 調査方法 インターネットによる自記入式
- 調査時期 2013年10月実施
- 実施機関 株式会社マクロミル

4. インフラ友達から考える未来仮説

インフラ友達の登場は、社会や市場を変えていくと思われます。企業や行政には、インフラ友達の「生活のマイナスやネガティブな側面をカバーしてくれる機能」を活用しながら、社会課題解決のためのシステムを開発することが重要になってくるでしょう。また、インフラ友達の「毎日を意欲的に過ごし、何かにチャレンジしようとする時に、力になってくれる」機能を活用しながら、生活や人生の質の向上に貢献するための商品やサービスを開発することも求められるでしょう。

友達減税

介護保険等、国や地方が提供するサービス部分を、友達にお願いできた場合、その分を減税措置。介護する人も、被介護者も優遇される。

お歳暮リノベーション

お歳暮は従来、仕事上での儀礼として贈りあっていたが、その文化は徐々に下火に。しかし友達への日常的なプレゼントは増えている。そこで、インフラ友達への感謝の気持ちを伝える手段としてお歳暮を活用。従来のお歳暮商品だけでなく、地場の特産品や相手が喜ぶモノ、サービス、コンテンツを贈りあうマーケットが生まれるだろう。

友達発電所

電気自動車が普及すると、行く先ざきで補充が非常に重要になる。その際に、各地に電力補充友達がいればとても便利。電力補充ネットワークが全国に結ばれたり、友達数人で集まってソーラーパネルを設置したり、電力を融通し合うようなサービスが生まれる。

複数人登録自動車

自動車は、土地と違って、複数人で共有登録はできない。それができるようになれば、自分ではたまにしか乗らないからクルマを買わないという人でも、クルマを買うかもしれない。他人のクルマを借りるのは気が引けるという人も、気兼ねなく運転できる。クルマのシェア社会をデザイン。

レスキュー友アプリ

事前に、どの友達に何を助けてもらいたいかを、このアプリケーションに登録しておく、緊急事態にクリックするだけで、電話や SNS 経由で、即時に友達に連絡がいくシステムになっている。警察や病院などの代替サービスとして機能したり、必要以上に警察や病院に問い合わせしまうトラブルの回避に貢献。

インフラ友達相談所

結婚相談所のインフラ友達版。自分の悩みや困っていること、夢などを、自分のプロフィールや経歴と併せて登録。その悩みや夢に共感した人やサポートしたいと思う人たちが相談所にオファーを出す。その際、相談所は両者が合うかどうかを見極めてマッチングする。

クリーニング店が「着まわし仲間」の共有クローゼットに

「着まわし仲間」と服をシェアすると、使用頻度が高まり汚れやすくなったり、他人の汚れが気になったりするためクリーニングが必要となる。クリーニング店は新たなサービスとして服をシェアするための共有クローゼット機能を持つ。それは「着まわし仲間」の間で服を保管、デリバリーし使用後にクリーニングするためのサービス。

[参考] 生活者が欲しいインフラ友達ランキング50

- Q. (インフラ友達50を一つずつ提示しながら) あなたはその友達について新たに欲しい(増やしたい)と思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを次の4つの中から一つ選んでお答えください。
(そう思う/ややそう思う/あまりそう思わない/そう思わない) 単位:% n=3,448
※ 値は「そう思う」と「ややそう思う」の合計

1位	避難所友	(ひなんしょとも)	大震災、豪雨、竜巻、火山噴火、原発事故などの大災害時に、避難所的に受け入れてくれる友達	55.0 %
2位	教友	(きょうゆう)	菜園、料理、語学、アイロン、運転など、生活の質を上げるための知恵を教えてくれる友達	52.6 %
3位	命友	(めいととも)	「ああ、生きていくのがちょっとしんどいな」と漠然と思った時に電話すると、生きる気力を与えてくれる友達	49.9 %
4位	ネンイチさん	(ねんいちさん)	1年に1度程度しか会わないが、友達がいることの楽しさや喜びを実感させてくれる友達	49.4 %
5位	目利き友	(めききとも)	飲食店や医者、病院などネット上の評判情報の真偽、隠れた問題点などを見抜ける「目利き」力のある友達	47.7 %
6位	黙友	(もくゆう)	こちらが落ち込んでいるときに、何も言わずに、何も聞かずに、ただ、そばにいてくれる友達	46.0 %
7位	訳友	(やくとも)	外国語や専門用語を翻訳して教えてくれる友達	43.3 %
8位	怒友	(おこつとも)	激しい口論になっても、最後には自分の中に「気付き」をもたらしてくれる友達	41.8 %
9位	ネタ友	(ねたととも)	トレンド情報や裏情報など、興味深いネタを提供してくれる友達	41.2 %
10位	旬友	(しゅんととも)	季節になるとタケノコを掘って送ってくれたり、天然のアユを送ってくれるなど、旬の食材を送ってくれる友達	40.5 %
11位	グルメなび夫	(ぐるめなびお)	グルメで飲食店に詳しく、店選びに困った時に連絡すると、どんなに難しい条件設定でも最適な店を案内してくれる友達	40.2 %
12位	里フレ	(さとふれ)	血縁・地縁はなくても、その友達の居住地が自分にとって第二の故郷になりうる交流をしている友達	39.2 %
13位	年の差友	(としのさとも)	趣味や社会活動などを通じて知り合った20歳以上歳が離れている友達	38.7 %
14位	季節友	(きせつとも)	季節が変わる頃に会おうと決めて恒例的に会い、そうすることで四季のうつり変わりを実感させてくれる友達	38.3 %
15位	B & B友	(びーあんどびーとも)	自分が旅行をするときに、朝食(ブレイクファースト)とベッドを貸してくれる現地の友達(国内外含む)	36.8 %
16位	仮定の家庭	(かていのかてい)	一人でいて寂しいときに、家族の情の交わりを求めて、遊びに行ける夫婦や子供のいる友達	36.4 %
17位	コメント友	(こめんととも)	ニュースや話題の出来事について、新聞やネットなどのメディアの論調を鑑みたくてフラットな批評をしてくれる友達	36.1 %
18位	風邪友	(かぜとも)	風邪をひいたら、面倒を看に来てくれる友達	35.8 %
19位	預友	(あずとも)	子供やペット、草花など大事でかつ日々の世話が必要なものを預かってくれ、世話をしてくれる友達	34.7 %
20位	シェル友	(しゅえるととも)	夫婦喧嘩や親子喧嘩などで家を出したときに、駆け込み寺になってくれるシェルター(避難所)のような友達	34.0 %
20位	エマフレ	(えまふれ)	旅行の際など、書類の「緊急連絡先」欄に名前を書くことを快く引き受けてくれる友達 ※エマ:エマージェンシーの略	34.0 %
22位	秘密共友	(ひみつきょうゆう)	恋人同士としてつきあっている相手のことなどについて互いに相談し、秘密を共有している友達	33.3 %
22位	コネ友	(こねとも)	予約が取れない店や会いたい有名人とのつながりやコネクションを作ってくれる友達	33.3 %
24位	論友	(ろんとも)	人前ではあまりできない政治や宗教、経済問題についてタブーを気にせず心おきなく語り合い議論できる友達	32.9 %
25位	ネゴ友	(ねごととも)	クルマや家具など大きな買い物や不動産探しの際に、値引きや条件などの交渉(ネゴシエーション)をしてくれる友達	32.7 %
26位	金友	(きんゆう)	家庭や人生の中長期のお金の算段や、必ず来る出費(例、相続や親の葬式他)などについて相談できる友達	32.5 %
27位	介護友	(かいごととも)	自分の親や自分の介護を手伝ってくれる友達(施設への送迎や食事の介助など専門的スキルがなくても出来ることでも可)	32.2 %

28位	番友	(ばんとも)	毎日無事に暮らしているかを互いにチェックしたり、長期不在時に家の手入れや戸締りをしてくれる番人のような友達	31.9 %
29位	共育メイト	(きょういくめいと)	自分の子育てに協力してくれる友達	30.6 %
30位	コーディネーターとも	(こーでいねーとも)	自分のことを分かっていて、予算やイメージを伝え、服や靴、アクセサリなどコーディネートしてくれる友達	28.7 %
31位	病友	(びょうとも)	同じ疾病で入院していた同室の人などで、退院後も互いの体調や新しい医療技術のことを共有・相談できる友達	28.1 %
32位	お使い友	(おつかいとも)	別生活、別生計なのに日常的に生活雑貨などの買物やお使いを頼める友達	25.6 %
33位	掃友	(そうとも)	普段の掃除や年末の大掃除を手伝いに来てくれる友達	25.2 %
34位	退治友	(たいじとも)	ゴミブリヤやマヨリなど苦手なモノの退治を引き受けてくれる友達	25.1 %
35位	ツイ友	(ついととも)	ツイッターなどSNS上だけでの知り合いだが、文字のやりとりを通じて精神的な支えになってくれる友達	23.7 %
36位	ペット友	(ペットとも)	ペットを通じて仲良くなり、ペットのみならず飼い主である自分をも何かあったときに助けてくれる友達	23.4 %
37位	遺品友	(いひんとも)	自分が死んだ後、趣味の道具の処理やSNSのアカウント抹消などを引き受けてくれる友達	23.3 %
38位	クレーマー友	(くれーまーとも)	クレーム(苦情や文句)を言いたい時に、自分のかわりにクレームを言ってくれる友達	23.2 %
38位	雰囲気彼氏/彼女	(ふんいきかれし/かのじょ)	夫婦や恋人同士で行かないと気まずそうな場所に、夫婦・恋人のようなフリをして一緒に行ってくれる友達	23.2 %
40位	フレンド湿布	(ふれんどしっぷ)	肩や背中など、手の届かない所にシップを貼ってくれる友達	22.9 %
41位	着まわし仲間	(きまわしなかま)	コーディネート幅を広げたり、自分では買わない服でも楽しめるよう、互いの服を交換しあうことができる友達	22.8 %
42位	託友	(たくとも)	自分が死んだ後に、自分の親族の面倒を託せる友達	21.8 %
43位	終友	(ついととも)	一緒に終活(自分が死んだ時のための準備)をしたり、共同出資で建てた施設などで死ぬまで共に暮らすことができる友達	20.6 %
44位	口裏大臣	(くちうらだいじん)	アリバイが必要で困っている時に、どんなアリバイでも巧妙に偽証してくれる友達	20.4 %
45位	添い寝友	(そいねとも)	恋愛感情も肉関係もなく、ただ添い寝を一緒にしてくれる友達	17.4 %
46位	シェア友	(しえあとも)	別荘やクルマなどの高額品を貸し借りできる友達	17.0 %
47位	興信女/男	(こうしんじょ/ /こうしんおとこ)	独自のネットワークを使って、興信所のように彼氏/彼女やパートナーの素行調査をしてくれる友達	12.4 %
48位	モニター友	(もにたーとも)	お互いのリビングの映像をWebカメラで常時共有。PC画面(モニター)上で声を掛け合い、いつでも会話ができる友達	11.9 %
49位	遺産友	(いさんとも)	死後に自分の遺産(財産や土地、大切なものなど)を相続してくれる友達	11.0 %
50位	墓友	(はかとも)	死んだら一緒のお墓に入ろうと約束してくれる友達	6.4 %

博報堂生活総合研究所でインフラ友達のアイデアブレストをおこない、数多くのアイデアの中から、注目されるであろう50個をセレクト。この50項目を調査において評価対象とした。